

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2003-310977(P2003-310977A)

【公開日】平成15年11月5日(2003.11.5)

【出願番号】特願2002-120457(P2002-120457)

【国際特許分類第7版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月17日(2005.6.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

制御基板を収容する制御ボックスを備えた遊技機であって、

上記制御ボックスを構成する筐体本体と蓋体には、互いに略中心部位に貫通孔を形成した板状部を有するとともに、両板状部を当接せしめた状態では各板状部における非当接面側に硬化剤だまり部を形成する一対の筐体封止部材を備えさせたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

上記筐体封止部材の一方については、板状部における非当接面の側に周縁部分を立設せしめて略浅皿状に形成するとともに、当接面の側には同様に周縁部分を反対方向に筒状に立設せしめ、上記筐体封止部材の他方については、上記筒状部分に入る一対の板状部を連結壁にて間を隔てて保持して構成したことを特徴とする上記請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

上記筐体封止部材における筒状部分の周面にスリットを形成しておき、他方の筐体封止部材の側には上記連結壁より同スリットを介して外部に突出させた接続部を備えた構成としたことを特徴とする上記請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

上記両板状部における周縁部分には空気穴としての第2の貫通孔を形成したことを特徴とする上記請求項2または請求項3に記載の遊技機。

【請求項5】

一方の上記筐体封止部材における板状部の上方には浅皿状の部分を形成し、その下方には側面方向に開口する空き室を形成し、

他方の上記筐体封止部材は上記空き室に対して側方から開口を閉じることが可能であるとともに同空き室内にて上記板状部に隣接して挿入可能な他方の上記板状部を有する構成としたことを特徴とする上記請求項1に記載の遊技機。

【請求項6】

両方の上記筐体封止部材を浅皿状に形成し、互いに底面を当接させるとともに、一方についてキャップをつけて空き室を形成したことを特徴とする上記請求項1に記載の遊技機。

【請求項7】

上記硬化剤の樹脂は透明であることを特徴とする上記請求項1～請求項6のいずれかに

記載の遊技機。

【請求項 8】

上記一対の筐体封止部材を透明の樹脂で形成することを特徴とする上記請求項1～請求項7のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

【発明の効果】

以上説明したように本発明は、硬化性の樹脂だけで封止し、金具を必要としないで封止する制御ボックスを採用した遊技機を提供することができる。

また、手段1および請求項2にかかる発明によれば、一方に閉じた空間を形成し、充填する樹脂が漏れ出ないようにできる。

さらに、手段2および請求項3にかかる発明によれば、閉じた空間を作りつつ筒状とした側方へ接続部を出す構成とすることができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

さらに、手段3および請求項4にかかる発明によれば、空気穴としての第2の貫通孔を形成するので閉じた空間内にも容易に樹脂を充填できる。

さらに、手段4および請求項5にかかる発明によれば、側方から近接する方向での閉じ方に対応することができる。

さらに、手段5および請求項6にかかる発明によれば、形状を簡易にすることができる。

さらに、手段6および請求項7にかかる発明によれば、樹脂を透明として不正な行為を発見しやすくできる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

さらに、手段7および請求項8にかかる発明によれば、筐体封止部材についても透明の樹脂で形成することにより、不正な行為を発見しやすくできる。

さらに、手段9にかかる発明によれば、パチンコ機の遊技領域における背面側から視認でき、営業時間中を含めて頻繁に開かれるので目に触れ易く、早期に発見して不正に基づく損失を最小限とすることができますし、未然に不正を防止できる。

さらに、手段10にかかる発明によれば、スロットマシンの内部に配置されつつ、同スロットマシンを開いたときに視認できるので、早期に発見して不正に基づく損失を最小限とすることができますし、未然に不正を防止できる。